

鎌倉河岸 石墨伊右衛門 同所 同 久左衛門 大傳馬町貳丁目 三河や作兵衛外〇此

略軒

〔諸問屋再興調別帳〕享保度ヨリ寛政度迄、諸商人之内、問屋ト定候名目取調申上候書付〇中略

内店組  
一絹布太物縁綿小間物雑人形蠟燭問屋

安永度人數五十人〇中略

紙店組  
一紙蠟燭燭問屋

安政度同六人

二番紙店組  
一紙蠟燭燭問屋

安政度同九人

三番紙店組  
一紙蠟燭燭荒物問屋

安政度同二十一人

住吉組  
一下リ蠟燭燭荒物問屋

安政度同二十九人〇中略

寛政之頃合七百貳拾九株

中略

一地懸蠟燭屋

安政度同三十人〇中略

一燈心屋

安政度同三十一人〇中略

是者寛政五丑年六月言上、御帳付人數ニ御座候、

安政度同三十一人〇中略

一人

申二月廿六日

堀江町名主  
熊井理左衛門

〔諸問屋再興調五〕蠟燭燈心問屋之儀、天保度兩問屋被仰付候處、去ル丑年中、諸株御停止後者御領主様より右燈心御當地荷置場ニ而御賣捌相成候處、今般諸問屋再興ニ付、如元兩問屋ニ相成候而者、諸雜費口錢等相嵩、村方難澀筋ニ付、是迄之通、荷置場ニ而御賣捌御仕法、御居置可相成哉、右ニ付、下々事實之趣密々御尋ニ付、承探候趣左ニ奉申上候、

一常州山根之内、大形村、田上村、高岡村、藤澤村、上坂田村、大畠村、下坂田村、真鍋村、此八ヶ村蘭草作付之場所ニ而、先年者、右村之燈心も彈左衛門引請場所ニ候處、市中地掛蠟燭屋共御用方蠟燭賣品共、眞燈心ニ差支候ニ付、彈左衛門引請場之內、右八ヶ村產蠟燭眞燈心ニ限、地掛蠟燭屋買場ニ